



SUPPORTER サポーター  
横島 寛さん

## 能登半島地震の 災害ボランティアに参加して

能登半島地震の被災者支援に輪島市門前町にある浦上公民館で、調理班としてボランティア活動に従事したときのエピソードです。

炊き出しを調理しているときに余震があり、住民の方から、「揺れたけど怖くないですか?」と聞かれ、「怖くないです」と答えましたが、何故か複雑な思いが…。

徳島の地元では、防災訓練時に倒壊家屋からの救出訓練も行ってきました。今回の地震で家屋からの救出ができたのか、思い切って住民の方に尋ねました。すると、「無理でした。倒壊した家の下敷きになり亡くなった人がいます。どうすることもできませんでした。」「私は15~6年前に輪島で地震を経験して

います。だからもう来ないと思込んでいました。何の準備もしていませんでした。」との返事。

振り返ると、大きな地震の後の余震であるという私の思い込みからでた「怖くない」への戒めだったと感じています。

その上で、「帰られたら、備えることの大切さを話してあげてください。」と強い思いを託されました。災害はいつ起こるか分かりません。日頃から備えをしっかりしておくこと、決して油断をしないことが大切です。



SUPPORTER サポーター  
辻内 恵子さん

## 障害当事者の防災について

障害者と健常者の橋渡しをする、防災士の辻内恵子です。

私は国府町を起点に防災などのイベントを主催しています。

社会にある障害を取り除き、災害時に障害当事者も自力で自分の命が守れるように、学校や地域の人と一緒に避難訓練や防災学習を進めていきたいと思っています。

しかし、イベントを企画しても支援学校と地域の皆さんとの連携がほとんどできていないのが現状です。

災害に対する危機感の温度差と、当事者同士も住民同士もつながりがまだまだ薄いと感じています。

いざという時の避難方法や、目が見えない人や耳が聞こえない人への情報伝達、体が動かない人の避難経路、知的・精神・発達障害者のクールダウンできる場所など、これらは障害者だけではなく、高齢者や、皆さん一人ひとりに言える事です。

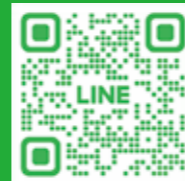
まずは、自分の家族や地域で、防災の事、一緒に考えませんか?



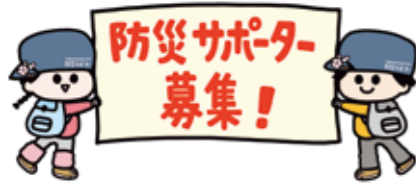
## 徳島市公式LINE 友だち募集中!

ハザードマップや防災に関するよくある質問集、雨量・河川水位の確認ができます!  
また、防災のほか、「子育て」「健康」「暮らし」などの情報も受信可能です。  
便利な徳島市公式LINEをぜひ御活用ください!

LINE ID  
@tokushima.city



## 令和6年度 防災サポーター募集



大規模災害発生時の避難所運営支援など、地域の防災リーダーとして御活躍いただく徳島市防災サポーターの登録希望者を、防災士の資格をお持ちの人を対象に募集します。  
すべての市民が安心・安全に暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進するため、徳島市防災サポーターへの登録に御協力をお願いします。(現在の防災サポーター登録者数: 26名)

### 申し込み方法

「防災サポーター登録希望」と明記し、郵送、ファクスまたはメールで下記の内容を記載して申込みください。

- ①住所②在勤・在学地③氏名④生年月日⑤電話番号⑥メールアドレス⑦防災士証(カード)または認証状の写し及び⑧防災情報の発信に活用できる特技・資格

募集期間 令和6年5月1日(水)~令和6年5月31日(金)  
(詳細は広報とくしま、市HP等をご覧ください)

【対象】 県内在住の防災士資格保有者  
※多様性に配慮した防災対策を推進するため、性別や年齢などに関わらず幅広く募集します。

【定員】 15人 ※応募者多数の場合、審査・選考を実施。

- 【活動内容】 ①大規模災害発生時における避難所などでの活動 ②防災訓練、研修の受講や市民に対する防災指導 ③平常時におけるSNSなどを活用した防災情報の発信

徳島市防災対策課

〒770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地(本館7階) 電話: 088-621-5527 ファクス: 088-625-2820  
メール: bousai\_taisaku@city-tokushima.i-tokushima.jp Instagram: tokushimacity.bousai\_supporter

## 徳島市防災サポーターとは

すべての市民が安全・安心に暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進するため、大規模災害発生時の避難所運営支援など、地域の防災リーダーとしてご活躍いただく、防災士の資格をお持ちの方のうち徳島市が任命させていただいた方々です。



## 活動内容

### 1 大規模災害発生時における避難所等での活動

→大規模な地震及び津波が発生した際の津波緊急避難場所への誘導、避難所の開設準備、避難所開設後の避難者の受け入れや問い合わせへの対応等を指揮するリーダー及び相談役を担います。

### 2 防災訓練、研修の受講や市民に対する防災指導

→徳島市主催の訓練や研修への参加による災害対応力の向上を図り、市民参加型の訓練において、市民の皆さまへの参加の呼びかけや、徳島市職員と一緒に指導する立場として参加します。

### 3 平常時におけるSNS等を活用した防災情報の発信

→Instagramでの広報や広報誌の発行のほか、各個人SNS等での防災イベント、訓練の周知等の情報発信を行います。



# 防災サポーター参加研修・訓練報告

## 1. 市民防災研修会 令和5年7月29日(土)



『防災を考えながら、暮らしを考える ～あなたの「いつも」が女性・子どもを救う～』と題し、NPO法人ママプラグの富川万美様に御講演いただきました。



**ここがポイント!**

災害に備える際には、「我が家の特徴」を意識することが大切です！  
家族一人ひとりの特徴（アレルギーをお持ちの方、持病をお持ちの方、新生児など）を各家庭で確認して、「オーダーメイド」な備えを心がけましょう！

## 2. 防災サポーター研修会 令和5年10月9日(月)



『悪天候時の情報収集』と題し、NHK徳島放送局気象予報士・徳島市防災サポーターの藤野勝成様を講師にお招きし、防災サポーターの皆様へ、悪天候時の情報収集について御講義いただきました。



**ここがポイント!**

悪天候が近づいている際には、最新の情報を手に入れることを意識し、早めの備え・準備が大切です！テレビやラジオ、インターネットから発信される情報をこまめに確認しましょう！

徳島市のホームページでは、災害時における避難所開設状況や、最新の緊急災害情報、防災に関する重要情報を発信していますので（左QRコード）、ぜひ御覧ください！



## 3. 徳島市民総合防災訓練 令和5年11月19日(日) 福島小学校 / 令和5年12月3日(日) 北井上小学校



福島小学校



北井上小学校

この訓練では、実際に大規模な地震が発生したと想定し、指定避難所である小学校の体育館にて避難所運営を模擬的に行う「避難所運営訓練」を行ったほか、グラウンドでは防災知識の普及啓発を目的とした、起震車による地震体験や、消火訓練、防災関連企業による展示等を実施しました。

防災サポーターも本訓練に参加し、避難所の受付・誘導や、避難者管理簿の作成などを、地域住民の方と協力しながら実施しました。



**ここがポイント!**

過去の災害を踏まえると、避難所をスムーズに運営していく上では、地域の皆さんが主体となって運営することがとても重要です！

徳島市民総合防災訓練では、実際に災害時の避難所がどのようなものか、体感いただけます！

次回開催時には徳島市ホームページや、広報とくしまなどで周知しますので、ぜひ御来場ください！

## 4. 災害時におけるおんぶ・抱っこに関する研修会 令和6年2月25日(日)



『災害時に身近なものでできる緊急おんぶ・抱っこ』と題し、抱っこひも教室「抱っこの木」代表・徳島市防災サポーターの中川智子様をお招きし、災害時の親子の安全な避難行動について、御講義いただきました。



**講師の先生からのコメント!**

**サポーター 中川 智子 さん**  
抱っこひも教室「抱っこの木」代表

「ベビーウェアリング・アドバイザー」（抱っことおんぶの専門家）として、赤ちゃんの抱っこひも教室を主催しています。避難時の落下を防ぐためにも、密着した抱っこ・おんぶができるように、抱っこひもの



の使い方の見直しのサポートや、被災時、抱っこひもを持っていない時や、大きいお子さんでも、身近なもので抱っこ・おんぶができる応用方法も「生き抜く力」としてお伝えしています。

災害弱者でもある、乳幼児を連れた子育て世帯の避難において、瓦礫や浸水など不安定な足場では、歩けるお子さんでもおんぶ・抱っこでの避難が必要です。親子の命を守るために大切なのは、とっさの時に「大人の両手が使える」こと。素手の抱っこやおんぶでは両手がふさがってしまうので、抱っこひもなどを使いましょう。

また、赤ちゃんの腰すわり以降であれば、おんぶの方が大人も動きやすく、素早く避難できます。「フェーズフリー」の観点や、家事の効率化、赤ちゃんの心身の健やかな成長といった面からも、ぜひ日頃から「おんぶ育児」を取り入れてもらいたいです。

## 5. どこでも地震体験マットYURETA 体験会 令和6年3月20日(水)



法花町内会、法花谷町内会主催の防災訓練にて行われた、防災・減災セミナー及び、「どこでも地震体験マットYURETA（ユレタ）」体験会に参加しました。

防災サポーターも本イベントに参加し、YURETAの準備や、訓練の運営サポート等を行いました。



**ここがポイント!**

地震による被害や影響、それに対する身を守る行動も、場所や環境によって異なります。

まずは事前に、普段自分が過ごしている場所で、地震が起こった際の考えられる被害や、落下物などの危険な箇所、逆に危険が少ない場所を確認しておくことが大切です！

